

〔郡名考〕安房 平群ヘククリ倍久リ

〔伊呂波字類抄〕安國郡 安房國 平栗府

〔房陽郡郷考〕平群郡、北は上總國天羽郡界に至り、東長狹朝夷二郡を界とし、南安房郡の界を限り、西は海に至る。

〔安房概志一〕郡名

平群郡ヘククリ和名抄曰、倍久利、北ハ上總ノ天羽ト國界ヲ分チ、東朝夷長狹ノ二郡ト接壤シ、南安房郡ニ至テ限ル、其西面ハ海ヲ帶テ遙ニ相模國ト相對セリ、中吾妻鑑ニハ平北郡ニ作ル、土人平北郡ト呼ヲ聞テ、ソノマ、記シタルカ、又ハ字形ノ相似ヲ以テ、比ヲ北ニ誤ルニヤ、或ハ周西周東廳南廳北ナドノ例ニシテ、其頃平群ノ北ヲ平北ト呼ビ、其南ヲ平南ト稱シタル歟、是皆詳ナラズ、又中古國ノ北方ニアルヲ以テ、直ニ此郡ヲ北郡ト呼タルコトアリ、寶珠院ノ舊記ニ、北郡佐久間村マタ里見記ニ、北郡大津城ナドミエタリ、和漢三才圖會ニハ、平郡ニ作ル、邦人ノ説ニ、平群郡ハ畿内ニ同名アレバ、之ヲ忌諱シ、且ハ混同センコトヲ恐テ、近年ハ群ノ一字ヲ省テ、平郡トノミ書セリト、然レドモ民部式ニ、諸國部内郡里等名並用二字、必取嘉名トミユレバ、平群ノ二字ヲ用ルヲ以テ正トスベシ、

〔續日本紀二十六〕天平神護元年二月辛卯、安房國平群郡人壬生美與會、廣主二人、賜姓平群壬生朝臣、

〔吾妻鏡一〕治承四年八月二十九日己酉、武衛相、其實平掉扁舟、令著于安房國平北郡、獵島給、  
〔圓藏院文書〕九十八ヶ所之内、

房州丸郡朝平南村之内四拾石、山下郡北條村之内五石、北之郡保田村之内五石、高合五拾石、右之通御寺領被遣之由我等所々從御奉行所御書出一冊ニ御坐候間從甲寅年可有御所務者也、仍如